

冠基金:北海道自転車産業協会まちづくり基金

特定非営利活動法人ezorock

助成金額 253,043円

廃棄処分自転車をゼロに「ゼロチャリ」プロジェクト



自転車に愛着を持ち、長く利用することで廃棄される自転車を削減できるよう、自転車のメンテナンスや修理方法を伝える動画の作成や、自転車安全整備士を招いたより専門的なメンテナンス、修理講座を実施しました。

一般社団法人 hug cafe club

助成金額 333,000円

hug*cafe project



月1の子育てサロンやオンラインの「ほろままclub」など、親子で楽しめる場所や子育て中でも学べたり挑戦したりする場と、育児の楽しさや辛さを共感できる仲間づくりのきっかけを提供しました。

NPO法人ドリームキッズチャレンジ

助成金額 300,000円

コロナの影響でスポーツを始めるきっかけを失った子どもたちへの北海道初のマッチング型少年野球大会イベント「SUNYONBASEBALL大会」事業



北海道初マッチング型少年野球イベント「SUNYON BASEBALL大会」を開催。コロナの影響でスポーツやコミュニティに触れる機会を失った小学3・4年生の子どもたちにとって「スポーツを始めるキッカケ作り」と「つながりの輪」を広げる場となりました。

子育て支援ワーカーズ「べりいべりい」

助成金額 100,000円

「命についての学習」



「命についての学習」を3回に分けて実施しました。目に見えない命について学び、考え、話し合ったことで、自分も他人も愛される存在と感じられました。家族や身近な人とこのような話を話す時間が必要だと感じました。

冠基金:イオン環境基金

一般社団法人相互支援団体かえりん

助成金額 500,000円

おさがり安定供給のための常設会場設置・開催



コロナ禍により開催延期・中止が余儀なくされ、更に急激な物価高騰によりおさがりのニーズが非常に高く、必要な方へ届くよう完全予約制の常設会場を設置しました。

テーマ指定:東日本大震災被災者支援

特定非営利活動法人 福島の子どもたちを守る会・北海道

助成金額 500,000円

～親子ですぐ夏休みin北海道～



コロナ禍で3年ぶり22回目の保養事業を5家族17名の親子を受け入れて実施しました。保養にくることで気持ちが解放され仲間がいることの安心感を話してくれました。子どもたちは一緒に、虫とりや水遊びなど一日中元気に仲良く走り回っていました。

冠基金:松前孝子こども基金

特定非営利活動法人 ソフトテニスインターナショナルサポート協会

助成金額 350,000円

ソフトテニスジュニアクラブチーム事業

札幌市内のテニスコートにおいて、小中学生を対象にジュニアクラブチーム活動を行う部活動が地域移行をしていくための受け入れができるように活動しています。札幌市内の様々な地域からの参加を受け入れ、それぞれのレベルに合った指導を行うことで、ソフトテニスを楽しんでもらうきっかけを作りました。

「和の心を子ども達へ、未来へ!」実行委員会

助成金額 300,000円

「和の心を子ども達へ、未来へ」ワークショップ&舞台実施事業

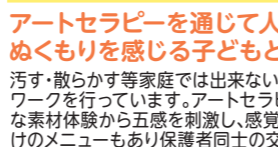


冬休みに①忍者と傘回しや獅子舞②ヒーローとCG剣舞③和太鼓奏者と和太鼓、と3日間にわたり、和芸や和楽器の体験ワークショップを行い、最終日にはプロの講師とワークショップの子ども達との合同での発表公演を行いました。

どこにもないアート教室 ちびちびぼく

助成金額 183,000円

アートセラピーを通じて人のつながり・ぬくもりを感じる子どもと保護者の支援事業



汚す・散らかす等家庭では出来ないようなダイナミックなアートワークを行っています。アートセラピーの要素を取り入れ、様々な素材体験から五感を刺激し、感覚・感性を磨きます。保護者向けのメニューもあり保護者同士の交流の場も設けています。

冠基金:CGCこども基金

SKIP

助成金額 240,000円

Sapporo Kids yoga Project SKIP ～カラダ・ココロ・生きる力を育む～



SKIPは、キッズヨガの定期クラスの運営、子ども主体のやりたいを形にする「SKIP祭り」の開催、サポートスタッフの育成、ダイヤモンドクラスとして食育、日本の文化である「味噌作り」を行いました。

特定非営利活動法人 猫と人を繋ぐツキネコ北海道

助成金額 113,000円

親子と猫のボランティア体験



2015年より助成を受けている「親子と猫のボランティア体験」を今年度も無事に開催できました。コロナ禍で、感染対策を強化し参加者も数組に絞っての開催でした。初めて「移動手術車」を用いて皆さんに楽しんで頂けました。

東日本大震災復興支援 「子どもを守ろうよ」の会

助成金額 230,000円

第13回東日本大震災復興支援「子どもを守ろうよ」の会公演



大船渡から動画メッセージ、岩手県中組を招いての虎舞、自主避難者脚本の演劇、有志の太鼓演奏等を行いました。虎舞を通じた心の復興の意義、演劇では避難者らの心模様等を発信。昨秋会員が訪れた大船渡報告書も配布。2日間で308名が来場しました。

テーマ指定:北海道胆振東部地震被災者支援

森の時間 SNOW HOKKAIDO 日本風呂敷文化～包～

助成金額 500,000円

心ともす竹あかり&トークライブ



大切な人を想い、灯した竹あかりが沢山の人の手により広がり、災害時に役立つ備えの役割となりました。震災体験を語り風化させず未来に繋ぎ、二度と悲しい涙を流さない様願いを込めて灯し続けています。

一般社団法人札幌YWCA

助成金額 1,100,000円

ステイホームの高齢者に届ける癒しのコンサートで、新しい生活様式後も演奏活動できるような演奏家を応援する事業

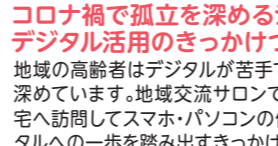


ステイホームの高齢の方が心癒されるよう、感染対策を十分に配慮した会場で音楽を楽しんで頂くことが出来ました。演奏家の皆さんには、これからの演奏活動に繋がると喜びの言葉を頂きました。助成金に感謝しております。

NPO法人たすけ愛ふくろう清田

助成金額 880,000円

コロナ禍で孤立を深めるシニアへ、デジタル活用のきっかけづくり

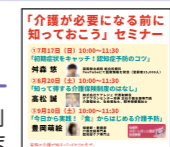


地域の高齢者はデジタルが苦手で、コロナ禍でさらに孤立を深めています。地域交流サロンでの「スマホ教え合い」や、自宅へ訪問してスマホ・パソコンの使い方を支援するなど、デジタルへの一歩を踏み出すきっかけづくりを働きかけました。

スタートアップ助成事業

特定非営利活動法人あえりあ

助成金額 50,000円



「介護が必要になる前に知っておこう」セミナー いざ介護が必要になってから「介護について何も知らない」「まず何をしたらいいのか分からない」と困る方が多くいます。医師、保健師、ケアマネージャーが講師となり、自身や家族に介護が必要になった時に役立つ情報を、介護が必要になる前に知っておいてもらうためのセミナーを実施しました。

おやこのあそびば

助成金額 50,000円

子どもの健全育成事業



おやこのあそびばは、札幌市北区の障害のある子(幼児～高校生)の子育てママを中心に、障害の有無に関係なく、地域で遊び学び育てる力を育て、次世代の子育てに継承できるような地域づくりを目指し、遊び場活動や学び場を親子で企画し実施しています。

テーマ指定:新型コロナウイルス感染症対策市民活動

特定非営利活動法人ふまねっと

助成金額 1,717,031円

孤立や認知症を予防するオンライン交流型体操教室とICTスキル向上説明会事業



コロナ禍前後で懸念される孤立や認知症を予防する目的で、在宅で参加できる交流型の体操教室をオンラインで配信する事業と、オンラインサービスを利用するためのICTスキルを学ぶ実習型説明会を行いました。

特定非営利活動法人勇者の会

助成金額 948,001円

家族の絆プロジェクト



小児がん患者のご家族を招待し、家族全員のご褒美旅行として、室内において海や旅行へ行った気分になれる宿泊体験を行いました。退院後も家族で外に出掛けることが中々出来ない中、様々な体験で楽しんでいただきました。

特定非営利活動法人子育て応援かざぐるま

助成金額 480,000円

子育て家庭の孤立を防ぐために! 相談機能強化オンライン6講座



乳幼児家庭の孤立を防ぎ、重篤な虐待を予防するために、札幌市内で地域子育て支援拠点や利用者支援事業を担う官民40団体(50窓182名)がオンライン6講座を受講し、オンライン相談に必要なスキルを学び合いました。

一般社団法人清田区風の谷協働研究ラボ

助成金額 50,000円

最新知見に基づくキツネとの付き合い方啓発事業



市内のキツネ出現頻度が高くなる中で、キツネとエキノコックスの正しい知識周知のため道立衛生研究所・浦口氏の講演会を開催し、地域住民、保育関係者等から好評を得ました。また、市民参加型のキツネ出現状況調査を実施しました。

特定非営利活動法人メリーライズ

助成金額 0円

はじめてのブックスタート事業

子どもに障がいがある等の理由により読書を遠ざけてきた家庭に対して、子どもに応じて選定した絵本を手渡すことにより、子どもたちだけでなく、その保護者にも本の楽しさに気づいてもらうきっかけづくりを行いました。